

第23回日本ボッチャ選手権大会 実施要項

- 1 目的 ボッチャの競技力向上を図る機会とする。
2022年日本ボッチャ協会強化指定選手選考の基準の一つとする。
- 2 名称 第23回日本ボッチャ選手権大会
- 3 主催 一般社団法人日本ボッチャ協会
- 4 共催 あいちボッチャ協会
- 5 後援（予定）
愛知県、豊田市、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会
公益社団法人日本理学療法士協会、社会福祉法人中日新聞社会事業団
社会福祉法人愛知県社会福祉協議会
- 6 協力 日本福祉大学
- 7 協賛
株式会社こうゆう
株式会社 CAC Holdings、株式会社アポワテック、株式会社ゴールドウイン
トヨタ自動車株式会社、株式会社 明治、花王株式会社、日本電気株式会社
株式会社立飛ホールディングス、ヤマハ株式会社、フジコーワ工業株式会社
東日本旅客鉄道株式会社、酒井医療株式会社、トランコム株式会社
アクサダイレクト生命保険株式会社、株式会社近畿日本ツーリストコーポレートビジネス
東武不動産株式会社、西尾レントオール株式会社

- 7 会場
スカイホール豊田（豊田市総合体育館）
〒471-0861 愛知県豊田市八幡町1丁目20
TEL：0565-31-0451



- 8 日時及び日程（予定）
＜第1日目＞ 2022年1月7日（金）
17:00～20:00 公式練習
*各クラス30分程度ずつ器具検査を実施予定
（全選手対象。詳細は当日情報開示予定）
*器具検査をもって選手受付とする。
＜第2日目＞ 1月8日（土）
09:30～10:00 開会式
10:30～18:00 競技1日目
＜第3日目＞ 1月9日（日）
09:30～16:00 競技2日目
16:10～ 閉会式



9 競技について

(1) 競技種目

個人戦 BC1、個人戦 BC2、個人戦 BC3、個人戦 BC4

(2) 競技規則

「日本ボッチャ協会競技規則 2017-2020 v.2」を適用する

(3) クラス分け

本大会での事前のクラス分けはおこなわない。ただし、大会期間中、協会クラス分け委員から再審査を指示された選手は、クラス分けを受けなくてはならない。

(4) 表彰

1) 各クラス上位3名までにメダルを授与する。

2) BC3クラスの競技アシスタントについてもメダルを授与する。

10 ドーピング・コントロール

(1) 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング検査対象大会である。

(2) 本競技会参加者は、競技会に参加申込みをした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。また、18歳未満である本競技会参加者の申込みにおいては、上記のドーピング検査の実施について親権者から同意を得たものとみなす。

(3) **本競技会に参加する18歳未満の参加者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し、携帯すること。**

親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイト

（<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>）からダウンロードできる。

18歳未満の参加者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出すること。

なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出すること。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとする。

(4) 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わなかった場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。

(5) 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト（<http://www.playtruejapan.org>）にて確認すること。

(6) 本競技会参加者は使用薬物調査書に各自必要事項を記載し、申込み時に合わせて送付すること（使用薬物が無い場合についても、「使用無し」として必ず返送すること）。

※「使用薬物調査書」

➡ 協会ホームページからダウンロードして記入参加申し込み後、郵送またはメールで提出すること。

(E-mail) jimukyoku@japan-boccia.net

必ず、下記の件名で送ること。

【件名】第23回日本ボッチャ選手権大会 使用薬物調査書提出について（氏名）

（郵送）〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 4階

一般社団法人日本ボッチャ協会 宛



スポーツ振興基金助成事業

独立行政法人日本スポーツ振興センター

1.1 出場資格

(1) 第21回日本ボッチャ選手権大会本大会（第22回大会は開催中止のため）において下記の成績を収め、且つ今年度本大会の出場申込をした者。

個人戦 BC1 1位～4位 個人戦 BC2 1位～8位
個人戦 BC3 1位～8位 個人戦 BC4 1位～4位

※BC2クラスについては、上記成績者の内、1名について大会後にクラス変更がありました。
そのため、協議の結果、9位の選手を繰り上げることとなりました。
各クラスの出場資格選手は、以下の通りとなります。

<BC1>中村拓海、藤井友里子、仁田原裕貴、遠藤裕美

<BC2>廣瀬隆喜、杉村英孝、吉見成生、梅村祐紀、蛭田健一郎、佐藤 駿、蛭沢文子、渡辺勇次

<BC3>河本圭亮、有田正行、高橋和樹、江川拓馬、田中恵子、楠本大悟、竹之内和美、大林有利

<BC4>江崎 駿、古満 渉、内田峻介、渡邊湧太

1.2 参加費について

参加費（傷害保険料を含む）：3,000円（選手のみ）

（但し、選手については、非会員は協会登録料が必要。）

※お弁当を希望する方は、合わせて支払うこと。（1個700円）

1.3 PCR検査費用および、抗原検査キット費用について

今大会では、参加者すべてにPCR検査または、抗原検査の受検を義務付ける。

【選手および競技アシスタント】PCR検査

(1) 検査費用は、主催者で負担する。

(2) 参加申し込み後、大会1週間前までに、選手あてにメールにてPCR検査チケットコードを送る。（選手と競技アシスタント分あわせて送付する）

チケットコード送付時に添付される「申込フロー」に従って、各自で申し込みをすること。

【コーチまたは介助者】抗原検査

(1) 検査費用は自己負担となる。1名につき、1,000円。

(2) 参加申し込み時に、コーチまたは介助者分の個数を記載して申込し、参加費用と併せて決済すること。抗原検査キットは、大会1週間前までに、団体代表あてにまとめて郵送する。

1.4 申し込み方法

協会ホームページより、各所属団体の代表会員がマイページより一括して行うこと。

(1) 申込フォームに必要事項を記入して申し込みを行うこと。

(2) 事務局へ直接メールや郵送、ファックスでの申し込みは受け付けていない。

(3) 昨年度会員の方も、大会出場までに今年度会員登録の更新をしていないと参加ができないので注意すること。

<申込手順>協会公式ホームページより申し込む。

① TOPページのログインから代表会員が「マイページ」より申し込みを行う。

② 「大会参加受付」をクリックする



スポーツ振興基金助成事業

独立行政法人日本スポーツ振興センター

- ③ 団体内の内、大会参加申し込みをする選手にチェックをいれる。
 ※ 団体内の参加申し込み者全員の申し込みを行ってください！
 ※ お弁当の希望がある場合は、日ごとに個数を入れてください。
 ※ コーチ、競技アシスタント、または介助者の氏名を記入してください。
氏名の後ろに（コーチ）等記載して記入をお願いします。
帯同者がコーチと介助者の場合は、競技アシスタントの欄にコーチ名を記載ください。
 ※ 帯同できる人数に限りがありますので、ご注意ください。
 選手1名につき、2名まで帯同可能です。（合計3名まで）



選手1名



選手1名+いずれか1名(合計2名)
 (競技アシスタントまたは介助者またはコーチ)



選手1名+2名(合計3名)
 (競技アシスタント+コーチ
 または、介助者+コーチ
 または、競技アシスタント+介助者)



選手1名+競技アシスタント+介助者+コーチ(合計4名)

- ④ 大会参加費決裁画面にいくので、決済方法を選択する。☑ 申し込み、決済完了！
 ※参加費およびお弁当代（希望者のみ）のみの決済であり、会員登録は別に行う必要があるの
 で、注意すること。
 (4) 参加申込完了後、決済完了メールが所属団体の代表者へ自動配信される。決済完了メールが
 届いて、受付完了となる。改めて、参加決定通知は送付しないので、決済完了メールを保存し
 ておくこと。（決済完了メールの再送はできない。）
 (5) 大会当日受付時に、参加申し込みをした際に届いた決済完了メールを印刷して提示するか、
 メール画面を提示すること。
 ※団体代表者は、参加申し込みをした選手へプリントアウトして渡すか、メールを転送してお
 くこと。
 なお、申し込み後1週間経っても決裁完了メールが届かない場合は、メールにて一般社団法人
 日本ボッチャ協会事務局（E-mail jimukyoku@japan-boccia.net）に連絡をすること。

1.5 申込期間

2021年11月1日(月) 12時 から 11月26日(金) 18時 ※期日厳守

申し込み方法がわからない場合は、E-mail にて日本ボッチャ協会事務局に確認をすること。
 E-mail jimukyoku@japan-boccia.net

1.6 健康・安全管理

- (1) 参加者は各自の責任において、あらかじめ「かかりつけ医」等の診断を受けるなど、大会
 参加時の健康管理に留意し、使用している薬物等についても相談、確認しておくこと。
 なお、大会当日体調の悪い選手は、協会医療管理の指示のもと TD の判断により競技への
 出場を中止させる場合もある。
 (2) 主催者は、この大会期間中の応急措置のみを行う。参加に当たっては、自己の責任におい
 て健康と安全については充分留意すること。
 (3) 介助等が必要な参加者は、参加者あるいは所属団体で対応すること。



- (4) 傷害保険については、主催者において参加者を被保険者とした普通傷害保険（レクリエーション保険）に加入する。
- (5) 新型コロナウイルス感染症に対する対策については別紙に記載しているので、必ず確認すること。

17 その他

- (1) 受付時には「決済完了のお知らせ」（決済完了メール）を提示すること。大会プログラム、ゼッケンは受付にて配布する。
- (2) 参加申込完了後、やむを得ない事情により出場を辞退する場合は、大会1週間前までに日本ボッチャ協会事務局に連絡すること。但し、一度納金された参加費等は返金しない。
- (3) 受付時間には遅れずに集合すること。事情により遅刻する場合は、受付終了前に連絡を入れること。
- (4) 写真等の使用について
競技結果や選手権で撮影する写真等は、当協会ホームページ等に掲載する場合及び、障がい者のスポーツに関する広報用として使用する場合があります。また、選手権当日、報道機関が取材を行い、写真、映像がテレビ・新聞等で報道されることがあるので承知の上参加すること。なお撮影に際しては、競技の妨げとならないよう留意する。
- (5) 競技用具の搬入について
送付先：スカイホール豊田
（豊田市総合体育館：〒471-0861 愛知県豊田市八幡町1丁目20）
TEL 0565-31-0451
※2022年1月7日13時～17時の間で、日時指定（厳守）で発送すること。
- (6) 宿泊については、各自で手配すること。



(別紙) 第23回日本ボッチャ選手権大会における新型コロナウイルス感染症対策について

□ 大会前

- (1) 選手が、以下の事項に該当する場合は、参加を見合わせてください。
 - ① 体調がよくない場合 (例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - ② 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ③ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- (2) 大会2週間前より、体調管理チェックシートへ記入をお願いします。大会に参加するすべての者が対象者です。体調管理チェックシートは、ホームページからダウンロードをしてください。金曜日の大会受付時に提出をお願いします。
平熱が高い方(37.5度を超える平熱)は、備考欄にその旨ご記入をお願いします。
1月7日⇒大会2週間前から7日までの体調管理チェックシートを受付に提出
1月8日⇒当日用の体調管理チェックシートを受付に提出
1月9日⇒当日用の体調管理チェックシートを受付に提出
- (3) コーチおよび介助者は大会受付の日に、自宅を出発前に抗原検査を自宅で行ってください。陽性反応が出た場合は帯同を取りやめてください。その場合は、事務局(080-1478-7090)へ連絡してください。また、コーチや介助者が帯同できなくなったために、選手が参加を取りやめる場合もご連絡ください。
- (4) コーチおよび介助者は、陰性反応が出たキットをジップロックなどの密閉したまま検査結果を確認できるような状態で持参し、大会受付で提示してください。忘れた場合は大会に参加できませんので、ご注意ください。

□ 大会期間中

- (1) 会場に入場できる大会参加者(選手・関係者エリアに入場できる参加者)は、選手一人当たり2名まで(コーチ、競技アシスタントまたは、介助者)とします。
- (2) すべての参加者は、大会中常にマスク着用をお願いします。ただし、選手については、常時マスクまたは、フェイスシールドを使用することを原則としますが、障害上着用が難しい場合は、この限りではありません。(大会受付時に、その旨申し出てください。)マスクを着用しない者は、飛沫防止に配慮してください。
- (3) 朝入館した後は、ご帰宅まで原則退館できません。途中で退館した場合は、再度入館できませんので、ご注意ください。昼食等は、入館前に準備をしてきてください。

1. ウォーミングアップ時

- (1) 受付担当者は、飛沫防止用ゴーグルとマスクを着用する。
- (2) ウォーミングアップ時に選手に帯同できる人数を制限する。
各クラス、選手1名につき 1コーチ 1競技アシスタントまでとする。
- (3) 受付の前には、手指消毒をすること。
- (4) 選手は、ウォーミングアップ(オンコート)中はマスクを着用しなくてもよいが、常時マスクまたは、フェイスシールドを使用することを推奨する。
- (5) コーチ、競技アシスタントは、常時マスクを着用すること。
- (6) ウォーミングアップ後、マスクを外していた選手はただちにマスクまたは、フェイスシールドを着用しなければならない。

2. コールルーム

- (1) 受付担当者は、飛沫防止用ゴーグルとマスクを着用する。
- (2) コールルームに帯同できる者は、以下の通りとする。
【BC1】選手1名につき、1コーチ 1競技アシスタント
【BC2】選手1名につき、1コーチ
【BC3】選手1名につき、1コーチ 1競技アシスタント
【BC4】選手1名につき、1コーチ フットプレーヤーのみ1競技アシスタント



- (3) 待機する際には、設置されたフットマークに従って整列し、ディスタンスに配慮すること。
- (4) コールルーム受付前には、手指消毒をすること。
- (5) コールルーム入り口には消毒用フロアマットを設置するので、必ずその上を通過すること。
- (6) 全ての参加者は、コールルームに入る前に検温を実施する。
 - ① 体温が 37.5℃を超えるものは、再度検温を実施する。
 - ② 2度の検温で発熱が認められた者は、以後競技への参加はできない。試合は棄権となり、大会医事担当者の指示のもと、適切に隔離される。
- (7) コールルーム内では可能な限り会話を避け、静かに過ごす。
 - ① 対戦相手との会話は避ける。
 - ② コーチによる指導や戦術確認以外は可能な限り会話をしない。
 - ③ 審判との試合中の確認事項以外のコミュニケーションは控える。
 - ④ 対戦者同士のボールチェックをする場合は、審判の指示に従い各自で行うこと。
ボール確認の前後には、ボールに触れる者の手指を消毒すること。
- (8) 上記事項について、承諾しない選手、コーチ、競技アシスタントはコールルームの入室を禁止する。

3. 試合時

- (1) コートは、毎試合終了後にモップ掛けを行う。
- (2) 入場時は、審判、線審、計時、選手及び競技アシスタントは必ずマスクを着用すること。
- (3) 選手は、試合中はマスクを着用しなくてもよいが、常時マスクまたは、フェイスシールドを使用することを推奨する。
- (4) 競技アシスタントは試合中もマスクを着用すること。
- (5) 審判は可能な限り選手や選手の競技用具に触れないようにし、以下のような対応を行う。
 - ① 各コートにボールパーソンを配置し、エンド後のボールの回収を行う。
 - ② 競技アシスタントがいる選手については、競技アシスタントがエンド後のボールの回収、エンド開始時のジャックの受け渡しを行う。
- (6) 試合終了後、マスクを外していた選手はただちにマスクまたは、フェイスシールドを着用しなければならない。
- (7) 試合承認サインは、審判が示すスコアシート (iPad) を選手が確認し承諾後、審判が承認ボタンを押す。

4. 観戦について

- (1) 観客は入り口で体温チェックを受ける。
選手・競技アシスタント・介助者を含む大会関係者とは別の導線で入館する。
接触はできないので、注意すること。
- (2) 試合を観戦する場合は、大声での声援は控えること。
- (3) 密集して観戦することがないよう、ディスタンスに配慮すること。

5. 大会期間中の生活について

- (1) 体調管理シートの提出
朝検温をして体調管理チェックシートに記入し、毎日受付に提出すること。(体温計は各自で準備のこと) 忘れた場合は入館できない。
- (2) 行動の制限
 - ① 会食の禁止 (弁当などを会場、宿泊先自室での食事のみとし、5人以上での会食は禁止とする)
 - ② 移動の制限 (会場～宿泊先のみ移動とし、目的外の立ち寄り禁止とする)

6. 陽性者が判明した時の対応

- (1) 体調不良や発熱者が発生した場合、大会医事担当者の指示のもと対象者は適切に隔離される。
- (2) 開催自治体の保健所へ連絡をし、保健所の指示に従ってその後の対応を行う。
- (3) 対象者と同じチーム内の選手、対象者の競技アシスタント、介助者は、濃厚接触者となる可



能性がある。濃厚接触者と判断された場合は、適切に隔離される。保健所へ連絡をし、その後の対応は保健所の指示に従う。

- (4) 濃厚接触者と判断された選手は、対象者と同じく以後の試合には参加することはできない。
- (5) 陽性者が発生した場合、以後の大会実施については、保健所や大会医事担当者の意見をもとに大会本部が判断し、適切に対応する。

□ そのほか

- (1) 入館時およびコールルーム前でもサーモグラフィカメラまたは、非接触型体温計による体温測定を実施し、発熱症状が認められた方は入場をお断りさせていただきます。
選手については、発熱症状が認められた場合は、競技は棄権となりますので予めご了承ください。また、その際の参加費の返金はありませんので、合わせてご了承ください。
- (2) 応援の方は、選手や競技アシスタント等大会関係者と接触はできません。
選手、競技アシスタント、介助者、コーチ、その他大会関係者とは、館内の導線が別になっていますので、ご注意ください。
- (3) 観客の方を含めた来場者全員、常時マスクの着用をお願いします。ただし、障害のある方について、常時マスクまたは、フェイスシールドを使用することを原則としますが、障害上着用の難しい場合は、この限りではありません。(大会受付時に、その旨申し出てください。) マスクを着用しない者は、飛沫防止に配慮してください。
- (4) 会場への往復の移動の際にも、感染対策をとるなど十分にご留意ください。
大会期間中は、必要以外の他への立ち寄りや極力控えてください。宿泊先と会場の往復のみの移動をお願いします。
- (5) 大声での声援はご遠慮いただきますようお願いいたします。
- (6) 体育館に入る前に、手指の消毒、靴の裏の消毒、車椅子のタイヤの消毒にご協力をお願いします。
- (7) 床からボールを拾ったらできるだけ手指を消毒して取り組みましょう。手指消毒の前に顔や目、鼻などを触らないようにしましょう。
- (8) 手指消毒をこまめに実施しましょう。
- (9) 適宜水分補給を実施し、熱中症対策にも注意して取り組みましょう。
- (10) 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ1 mから2 m以上）の確保をお願いします。(障がい者の誘導や介助を行う場合を除く)
- (11) 会場の換気、必要に応じて床の清掃を行いますので、ご協力をお願いします。
- (12) 感染防止のために主催者が決めた措置の遵守、指示に従うようお願いいたします。
従わない場合は、競技への参加を中止させる場合があります。また協会規程に基づき、会員資格が喪失となる場合があります。(懲戒規程 第3条の1 参照)
- (13) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、協会に対して速やかに報告をお願いします。事務局アドレス jimukyoku@japan-boccia.net
- (14) 可能な限り「接触確認アプリ」を事前にインストールしてご参加ください。

新型コロナウイルスの詳細につきましては、厚生労働省のホームページをご覧ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

